

平成25年度事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

第1 概要

平成25年度の畜産を取り巻く情勢は、国内経済が緩やかな回復傾向が見られる中、消費動向は一部回復し、畜産の卸売価格も国内生産量及び輸入畜産物の減少等の原因から堅調に推移してきた。しかしながら、猛暑などの天候の変動に加え、引き続き配合飼料の高止まりが継続しており、これに加えて粗飼料や生産資材の高騰により、畜産農家の経営収支の改善は進んでいない状況にある。

畜種別に見ると、豚肉は年間を通じて卸売価格が堅調に推移し、補填金の発動がなく、鶏卵についても前半を除いて、価格が堅調に推移している。生乳については、取引価格が値上がりしたものの、生産基盤の回復が遅れ、生産量は減少している。

当協会が実施する肉用子牛生産者補給金制度においては、子牛の市場価格が右肩上がりにより上昇し、第1四半期の乳用種以外では補給金が交付されない一方、肉用牛肥育経営安定特別対策においては、乳用種及び交雑種が年間を通じて発動があり、引き続き月毎に補填金を交付する措置を続けている。

また、当協会は平成25年度から公益社団法人としてスタートをきり、これまで以上に事業の公益性を担保しながら、各種事業を積極的に行い、愛知県での畜産物の安定生産と供給、畜産への理解醸成と情報提供等に取り組んできた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 定時総会 平成25年6月27日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得るとともに、2項目について報告した。

議事

- 第1号議案 平成24年度事業報告、財務諸表並びに収支計算書に関する件
- 第2号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件
- 報告事項 平成25年度収支予算の補正について
平成25年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 臨時総会 平成26年3月27日(木)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得るとともに、2項目について報告した。

議事

- 報告事項 平成25年度収支予算の補正について
平成26年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資のみこみについて
- 第1号議案 平成26年度会費徴収に関する件
- 第2号議案 役員報酬に関する件
- 第3号議案 役員補欠選任に関する件

(3) みなし決議（書面議決）

平成25年8月12日：理事1名辞任に伴う後任理事の選任

平成25年11月20日：理事1名辞任に伴う後任理事の選任

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成25年6月3日（月）

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、1項目について報告した。

議事

第1号議案 平成24年度事業報告、財務諸表並びに収支計算書に関する件

第2号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の制定に関する件

第3号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る事務委託先に関する件

第4号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件

第5号議案 運営特別基金返還に伴う有価証券売却に関する件

第6号議案 平成25年度事業計画及び収支予算、資金調達及び設備投資見込みに
関する件

第7号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件

第8号議案 平成25年度定時総会の開催に関する件

報告事項 監事監査規程の制定について

(2) 第2回理事会 平成25年6月27日（火）

大津橋ビル5階大会議室別室において、改選された理事の役職（代表理事、業務執行理事、副理事長及び常務理事）を選定した。

(3) 第3回理事会 平成26年3月14日（金）

大津橋ビル5階中会議室において、業務執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに、2項目について報告した。

議事

第1号議案 平成25年度収支予算補正に関する件

第2号議案 平成26年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに
関する件

第3号議案 平成26年度会費徴収に関する件

第4号議案 平成26年度歳計現金預入先に関する件

第5号議案 平成26年度一時借入金の最高限度額決定に関する件

第6号議案 役員の報酬に関する件

第7号議案 平成26年度予防注射料金に関する件

第8号議案 諸規程の一部改正に関する件

第9号議案 肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件

第10号議案 役員の補欠選任に関する件

第11号議案 臨時総会の招集に関する件

報告事項 職務執行状況について

大津橋ビルの整備に関する件

(4) 第4回理事会 平成26年3月27日（木）

大津橋ビル5階大会議室において、業務執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 業務執行理事の選定に関する件

第2号議案 事務局長の任免に関する件

第3号議案 肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の一部改正に関する件

(5) みなし決議（書面議決）

平成25年4月1日：事務局長の選任

平成25年8月5日：理事1名辞任に伴う後任理事の候補者の決定

平成25年8月22日：業務執行理事及び副理事長の選定

平成25年11月8日：理事1名辞任に伴う後任理事の候補者の決定

3. 監事会

定期監査 平成25年5月29日（水）

大津橋ビル5階小会議室において、平成24年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。また、監事監査規程の制定について、監事全員の合意を得た。

4. 役員の状況

区分	本年度当初 (25年4月1日)	役員改選 (25年6月27日)	増 減		本年度末 (26年3月31日)
			辞 任	就 任	
理事	9	9	2	2	9
監事	3	3	0	0	3

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職員数（平成26年3月31日現在）

職 員 6名(出向職員1名<>内)

嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2<1>	1	3<1>
畜産振興課	2	2	4
総務管理課	1	—	1
計	6<1>	3	9<1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
25. 4. 5	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
25. 4. 26	東 京 都	畜産特別資金等全国会議
25. 5. 20	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
25. 5. 28	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
25. 5. 29	東 京 都	全国農場HACCP普及推進会議
25. 5. 31	名 古 屋 市	愛知県養豚協会総会
25. 6. 5	名 古 屋 市	名古屋コーチン協会総会
25. 6. 19	東 京 都	地域自衛防疫強化特別対策事業全国推進会議
25. 6. 19	東 京 都	馬飼養衛生管理特別対策等全国会議
25. 6. 20	名 古 屋 市	愛知県養鶏協会総会
25. 6. 21	名 古 屋 市	愛知県農業共済組合連合会総会
25. 6. 26	東 京 都	中央畜産会総会
25. 6. 26	岡 崎 市	愛知県家畜人工授精師協会総会
25. 7. 8	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
25. 7. 17	豊 橋 市	農協畜産担当者連絡協議会
25. 7. 24	幸 田 町	愛知県酪農農業協同組合総会
25. 7. 30	名 古 屋 市	いいともあいち推進協議会
25. 9. 3～4	岐 阜 県	東海4県衛生ブロック会議(高山市)
25. 9. 12	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
25. 10. 4	近江八幡市	肉用子牛生産者補給金制度東海近畿ブロック会議
25. 10. 4	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
25. 10. 7～8	岐 阜 県	東海ブロック畜産協会連絡協議会(岐阜市、大垣、養老)
25. 10. 13～14	岡 崎 市	畜産フェスタ
25. 10. 23	岡 崎 市	生乳の安全安心愛知県地域協議会
25. 11. 14～15	東 京 都	畜産特別資金等全国会議
25. 11. 28	東 京 都	畜産近代化リース業務全国会議
25. 12. 4	豊 橋 市	農協畜産担当者連絡協議会
25. 12. 11	東 京 都	中央畜産会管理責任者事務処理従事者研修会
26. 2. 18	東 京 都	家畜防疫互助基金支援事業中央会議
26. 2. 24	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度全国会議
26. 2. 24	名 古 屋 市	東海地域生乳安全安心協議会
26. 2. 26	名 古 屋 市	東海地域農林漁業成長産業化推進協議会総会
26. 2. 26	名 古 屋 市	衛生管理獣医療技術研修会
26. 2. 26	名 古 屋 市	中央畜産会衛生ブロック会議
26. 3. 5	東 京 都	肉用子牛生産者補給金制度経理研修会
26. 3. 27	名 古 屋 市	愛知県養豚協会総会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等にかかる状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用牛の価格が低落した場合に経営損失補填金を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構より生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

- ・ 推進会議等 1回(平成25年4月23日 岡崎市)
 - ・ 委託団体調査指導 73日延べ 77団体
 - ・ H25.1~12個体登録頭数 11,122頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | |
|---------|--------|
| ・ 肉専用種 | 1,029頭 |
| ・ 肉専その他 | 0頭 |
| ・ 交雑 | 6,615頭 |
| ・ 乳用種 | 3,478頭 |

①生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 239者	内訳：個人経営 213者、組合法人 4者、会社法人 22者
------------	-------------------------------

②生産者積立金造成実績

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	生産者負担金	県生産者積立助成金	機構生産者積立助成金	
黒毛和種	565,950	565,950	1,131,900	2,263,800
その他肉専用種	0	0	0	0
交雑種	8,268,750	8,268,750	16,537,500	33,075,000
乳用種	11,042,650	11,042,650	22,085,300	44,170,600
計	19,877,350	19,877,350	39,754,700	79,509,400

【生産者積立金単価】登録日：6月齢-1日(積立は四半期毎) (単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	550	550	1,100	2,200
その他肉専用	6,100	6,100	12,200	24,400
交雑種	1,250	1,250	2,500	5,000
乳用種	3,175	3,175	6,350	12,700

(平成22年7月1日登録分より改定)

③生産者補給金交付実績

(単位：円)

区分		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	計
黒	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	-
毛	金額	0	0	0	0	0
他	頭数	1	0	0	0	1
	単価	33,200	0	0	0	-
肉	金額	33,200	0	0	0	33,200
交	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	-
雑	金額	0	0	0	0	0
乳	頭数	884	760	0	0	1,644
	単価	10,600	1,700	0	0	-
用	金額	9,370,400	1,292,000	0	0	10,662,400
計	頭数	885	760	0	0	1,645
	金額	9,403,600	1,292,000	0	0	10,695,600

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用専用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業を推進した。

- ・ 推 進 会 議 等 1 回(平成25年4月23日 岡崎市)

参考：発動基準（単位：千円）

	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	410	270

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

また、生産者の肥育牛の個体登録、およびその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施した。

なお、東日本大震災での原子力発電所事故に起因した牛肉価格低迷以降、肉用牛経営は各種資材高も加わり、経営環境が厳しい状況が続くため、前年度に引き続き四半期単位での補填業務を、月毎に交付する特例措置で行った。

- ・ 推進会議等 1 回(平成25年4月23日、岡崎市)
- ・ 調査指導等 18日延べ 13団体 5者
- ・ 地域説明会 7日延べ 9カ所 204名
- ・ H25.2～H26.1個体登録頭数(17ヵ月齢頭数) 24,148 頭
- 肉専用種 3,941頭、交雑種 16,205頭、乳用種 4,002頭

①生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者 226者	内訳 個人経営 189者、組合法人 4者、会社法人 33者
------------	-------------------------------

②委託先契約締結状況

区 分	団 体 名
農 協 連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
そ の 他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績

【基金造成単価】 (単位：円)

	平成24年度			平成25年度			積立月 (達する月)
	生産者	機構	計	生産者	機構	計	
肉専用種	13,000	39,000	52,000	18,000	54,000	72,000	25月齢
交雑種	30,000	90,000	120,000	30,000	90,000	120,000	22月齢
乳用種	30,000	90,000	120,000	25,000	75,000	100,000	18月齢

(単位：頭, 円)

区分		H25. 2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉用種	頭数	359	300	288	274	382
	金額	18,668,000	15,600,000	20,736,000	19,728,000	27,504,000
交雑種	頭数	1,122	1,032	1,061	1,340	1,542
	金額	134,640,000	123,840,000	127,320,000	160,800,000	185,040,000
乳用種	頭数	513	429	402	385	378
	金額	61,560,000	51,480,000	40,200,000	38,500,000	37,800,000
計	頭数	1,994	1,761	1,751	1,999	2,302
	金額	214,868,000	190,920,000	188,256,000	219,028,000	250,344,000

区分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉用種	頭数	330	350	356	285	274
	金額	23,760,000	25,200,000	25,632,000	20,520,000	19,728,000
交雑種	頭数	1,588	1,453	1,475	1,424	1,342
	金額	190,560,000	174,360,000	177,000,000	170,880,000	161,040,000
乳用種	頭数	367	303	286	250	219
	金額	36,700,000	30,300,000	28,600,000	25,000,000	21,900,000
計	頭数	2,285	2,106	2,117	1,959	1,835
	金額	251,020,000	229,860,000	231,232,000	216,400,000	202,668,000

区分		12月期	H26. 1月期	計
肉用種	頭数	313	344	3,855
	金額	22,536,000	24,768,000	264,380,000
交雑種	頭数	1,245	1,251	15,875
	金額	149,400,000	150,120,000	1,905,000,000
乳用種	頭数	242	363	4,137
	金額	24,200,000	36,300,000	432,540,000
計	頭数	1,800	1,958	23,867
	金額	196,136,000	211,188,000	2,601,920,000

④肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区分		H25. 2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉 専 種	頭数	282	289	345	319	332
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,170	132	1,315	1,211	1,132
	単価	78,300	45,800	38,700	33,900	35,200
	金額	91,611,000	56,379,800	50,890,500	41,052,900	39,846,400
乳 用 種	頭数	335	28	368	419	350
	単価	69,200	65,600	63,900	56,000	45,700
	金額	23,182,000	22,369,600	23,515,200	23,464,000	15,995,000
計	頭数	1,787	1,861	2,028	1,949	1,814
	金額	114,793,000	78,749,400	74,405,700	64,516,900	55,841,400

区分		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期
肉 専 種	頭数	384	288	264	284	369
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,283	1,256	1,271	1,382	1,513
	単価	65,400	62,800	53,500	40,000	14,200
	金額	83,908,200	78,876,800	67,998,500	55,280,000	21,484,600
乳 用 種	頭数	400	360	336	371	334
	単価	43,200	48,600	45,500	41,700	41,400
	金額	17,280,000	17,496,000	15,288,000	15,470,700	13,827,600
計	頭数	2,067	1,904	1,871	2,037	2,216
	金額	101,188,200	96,372,800	83,286,500	70,750,700	35,212,200

区分		12月期	H26. 1月期	計
肉 専 種	頭数	667	168	3,991
	単価	0	0	-
	金額	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,716	1,087	15,597
	単価	6,900	40,700	-
	金額	12,047,400	44,240,900	643,617,000
乳 用 種	頭数	369	300	4,283
	単価	45,300	42,600	-
	金額	16,715,700	12,780,000	217,383,800
計	頭数	2,786	1,555	23,871
	金額	28,763,100	57,020,900	861,000,800

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

- ① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)

- ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク（LIN）上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
 - ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
 - ・県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施して、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
 - ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。
- ② 畜産特別資金推進指導（（公社）中央畜産会補助金）
 畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行なうとともに、県段階で設置している協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。
- ・現地検討会・指導会の実施 10回（田原市）
 対象：酪農家 1戸（大家畜経営改善支援資金）
 肉牛農家 1戸（畜産経営維持緊急支援資金）
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催1回（平成26年3月20日 名古屋市）
- ③ 畜産近代化リース貸付指導（（公財）畜産近代化リース協会委託金）
 畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。
- ・調査件数 15戸、 15基
 （岡崎市1戸、設楽町2戸、新城市1戸、豊橋市6戸、田原市2戸、西尾市1戸、半田市1戸、大府市1戸）
 - ・普及啓発資料作成 450部
- ④ 畜産団体調整機能強化（（公社）中央畜産会委託金）
 畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の畜産を担う生産者を参集し、地域に根ざした酪農及び肉用牛経営を題材に、将来的な畜産への展望について意見交換を実施した。
- ・懇談会・意見交換会等の開催 1回（平成26年3月26日）
 情報提供：山本広憲氏
 「今ETってどうよ！？～繁殖成績改善のための受精卵移植の活用～」
 意見交換参加者：酪農経営 1人、肉用牛経営 6名、
 県・団体関係者 4名
 情報提供者 1名、畜産コンサルタント 1名 計13名
- ⑤ 農場HACCP認証普及推進支援（（公社）中央畜産会委託金）
 現地での必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、農場HACCPシステムの効率的な構築への取組を支援し、地域の中核となる農場を育成し、農場HACCP認証の普及を図った。
- ・農場取組調査：3農場
- ⑥ 地域自衛防疫強化特別対策（家畜衛生対策推進協議会委託金）
 畜産の生産段階における防疫活動の強化のため、自主防疫活動の普及啓発等による組織活動の充実を図った。
- ・地域自主防疫推進会議の開催 2回 平成25年8月 8日 名古屋市
 平成26年1月17日 名古屋市
 - ・防疫演習 3回 平成26年1月24日：農場演習（養鶏）西尾市
 平成26年1月31日：農場演習（養豚）西尾市
 平成26年2月26日：机上演習（口蹄疫）一宮市

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社) 中央畜産会委託金)

馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会、ならびに講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。

- ・馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催1回(平成25年12月12日 名古屋市)
(愛知県、競馬組合、獣医師会、馬主協会、馬術連盟)
- ・馬飼養衛生管理技術講習会の開催 1回(平成25年12月12日 名古屋市)
「馬の疝痛の原因と対処法」
- ・地域馬獣医療実態調査 19ヵ所(回答ヵ所)

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

① 畜産物に関する理解醸成・情報提供(名古屋競馬株式会社補助金)

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、料理講習会、展示即売会、啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

(参考)

- ・畜産フェスタの開催
期 日：平成25年10月19日～20日
開催場所：岡崎市(畜産総合センター)
- ・畜産フェアの開催
期 日：平成25年12月25日
開催場所：名古屋市(名古屋競馬場)

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 平成25年5月22日
- ・第38回高橋養鶏賞受賞者 杉浦巧倫氏(経営部門)
- ・高橋養鶏賞表彰式 平成25年6月27日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・4団体催事：賞状5点、副賞5点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策((独)農畜産業振興機構補助金)

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 11頭 (愛知東農業協同組合)
- ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
(愛知東農業協同組合；肉用牛ヘルパー利用組合)
- ヘルパー要員 62名
- 活動実績・・・飼料生産関係： 1,240時間
- 家畜市場関係： 720頭

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援（農林水産省補助金及び手数料）

ヨーネ病、オーエスキー病等慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病、イバラキ病等の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

- ・生産農場清浄化支援対策事業検討会 2回(平成25年7月3日 名古屋市)
(平成26年3月18日 名古屋市)
- ・オーエスキー病清浄化対策(オーエスキー病清浄種豚流通促進対策)
対象農家戸数 2戸(新城市、田原市)
抗体検査・陰性証明書発行頭数 3,275頭
- ・ヨーネ病防疫講習会の開催 1回(平成26年2月25日 岡崎市)
- ・ヨーネ病清浄化のための同居牛自主とう汰 2頭
- ・伝染病予防ワクチン接種状況 牛 延べ 13,631頭
 - ・牛異常産三種混合ワクチン 2,995頭
 - ・アカバネ病単味ワクチン 4,084頭
 - ・イバラキ病単味ワクチン 6,552頭
- ・農場飼養衛生管理対策事業検討会 1回(平成25年6月20日 名古屋市)
- ・農場飼養衛生管理強化推進講習会 2回(平成25年8月21日 武豊町)
(平成25年8月26日 豊橋市)

② 家畜防疫互助基金造成等支援 ((独) 農畜産業振興機構補助金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

加入状況 H26.3.31現在

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	134	13,797	3,282,110
肉用牛	190	34,546	4,996,485
牛計	268	48,343	8,278,595
豚	106	192,131	9,932,465
合計	374	240,474	18,211,060

加入率

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	387	30,000	398	50,000	224	350,700
契約	134	13,797	190	34,546	106	192,131
加入率	35%	46%	48%	69%	47%	55%

事業推進会議等の開催 2回(平成25年8月8日 及び平成26年1月17日 名古屋市)

- ③ 海外悪性伝染病対策支援（自己資金）
海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。
- ・対象家畜：牛、豚
 - ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等
- ④ 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策（(公社)中央畜産会委託金）
馬産地等における伝染性疾病の防疫強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種助成及び新興感染症対策の普及啓発の検討を行った。
- ・対象施設 10 施設、 154 頭(乗用馬 154 頭)
 - ・地域自主防疫推進会議の開催 2回
- | | |
|--|------------------|
| | 平成25年 7月25日 名古屋市 |
| | 平成25年12月12日 名古屋市 |

2 収益事業

(1) 収 1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分（面積比）により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。

3 その他事業

(1) 他 1 畜産関係団体の事務局を運営する事業

ア 愛知県和牛改良協会の事務局

公益社団法人全国和牛登録協会の地方審査員の資格をもつ当協会の職員が、専門知識を発揮するとともに中心となって、業務受託により協会の事務局を運営した。